

第4回 当別町立地適正化計画策定委員会 会議要旨

1. 日 時 令和2年2月3日（木） 15:00～16:00
2. 場 所 役場 第2庁舎
3. 出席者 黒澤委員長、且見委員、栄木委員、高橋委員、杉本委員、梅本委員
4. 説明員 江口企画部長、乗木まち再生室長、高田まち再生室主幹、菅原まち再生室主幹、西脇まち再生室主任

5. 会議要旨 議題

(1) 当別町立地適正化計画（案）について

・主な質疑応答

【委員長】

資料4の6番について、防災マップ等の考え方についてもう一回説明してほしい。

【事務局】

水害等のときにどこに避難していいのかわからないという質問であり、全戸配布しているハザードマップに避難所を記載しているが、十分に周知がされていないので周知の方法を考えていくという回答しています。

説明会の際には、用意はしているが伝わっていなかったことが大きいと考えている。今回の計画の中にも、災害部分について記述はあるが、周知・啓発に力を入れ全町民に浸透するような動きをすることが質問に対する対応になると考えている。

【委員】

61ページの新たに誘導したい施設について、食品スーパーやドラッグストアは塗りつぶした黒丸になっているが、これ以外のもので太美市街地のものはあるのか。この欄だけ本町と太美で分かれているので何か理由があるのか。

【事務局】

新たに誘導したい施設は町内にない施設を記載している。病院や文化センター等は町内になく、食品スーパーやドラッグストアは本町地区にあるが、太美地区にはないので塗りつぶした黒丸表記にしている。

【委員】

全て同じ丸にして欄外に詳細を記載方がいいのではないかと。

【事務局】

わかりやすいように修正する。

【委員長】

7ページの人口動向について、1999年時点でピークとなる20,805人と記載されてるが、下のグラフの数値は国勢調査なのか。記述とグラフの数値が違うので注釈をいれたほうがよいのではないか。

【事務局】

ピーク時の人口は実際の人口である住民基本台帳の数値を使用しており、グラフは国勢調査の数値を使用している。どちらの数値を使用したか、わかるように修正を検討する。

【委員】

24ページの図面について、その中で壮年人口とあるが、7ページには生産年齢人口とあり、最近は壮年人口とはつかわないと思うので、確認してほしい。

また、61ページの誘導施設について、病院は誘致したいとあるが、当別町の地域医療におけるあり方検討会議での報告書のなかでは病院の誘致に関する記述は恐らくなく、有床診療所をイメージしていると思う。町が誘致していくものでは有床診療所であって、この計画の中での病院は町が支援するのではなく、民間が自ら進出して来る病院という認識でよいか。

【事務局】

立地適正化計画に基づいて、仮に民間の医療機関が進出したいとなれば、誘導施設に指定することにより支援制度を活用することができる。病院を誘致するというよりも進出したいとなれば受け入れられるような準備をするということで位置付けている。

【委員長】

83ページの人口密度について、ヘクタールとあるがどのくらいの規模になるのか。

【事務局】

本町と太美を合わせた居住誘導区域は324.5haとなっている。

【委員長】

高齢者の移動がしやすくなるということが重要になると思うが、JRとコミュニティバスで何かできないものか。

【委員】

JRの本数を増やすことは難しいと思う。コミュニティバスに発着に合わせるよりは、1時間に2本ぐらいあるので、高齢者が移動するには問題がないと感じる。

【委員長】

問題は駅までの距離である。

【委員】

駅の近くに居住地域を作るということになる。

【事務局】

北海道医療大学以北の廃線の調整に際し、JR側からの提案で混み合う時間帯の増便や終電を遅くするなどの取り組みを新たに対応してもらっている。コミュニティバスについてもJRの発着に合わせた運行にしているので、今後さらに使いやすいようにしていきたい。立地適正化計画でも公共交通の利便性を高めるとあるので、利便性を高める取り組みを進めていきたい。

【委員】

コミュニティバスについて、高齢者は全て網羅させているのか。高齢者は平等性はとれているのか。

【事務局】

コミュニティバスは町内でバスを運行している医療大学、ヒルズ、町が一緒になって地域で共通の資源を活用して運行したのがスタート。平等といわれるとまだ平等になっていない状況。平等に使ってもらえるようにデマンドバスなどで区域を広げるなどの対応をしていきたい。

【委員】

資料4のインフラ整備について、必要であれば考えているとあるが、先にこういう道路にしたいなどの利便性の向上のなかに都市計画を盛り込みながら、誘致などをしていったほうが効率がいいと思う。

【事務局】

そのとおりである。現在、道路等も計画していて、未だ実施できていないものもある。過去20年ぐらい財源的に乏しくて、実施できていなかったが、ここ1、2年ふるさと納税などにより新しい財源が入ってくるようになり、町民に聞いてどこから実施していくかを議論していくことが大事になってくる。

【委員】

先日の都市計画審議会の開催内容は過去の街路計画等の部分は含んでいるのか。計画決定して実施していない部分などの見直しはしているのか。今回の審議会の審議内容を教えてほしい。

【事務局】

内容は立地適正化計画についてです。街路計画等については、財源が十分にあるわけではないので、10、20年凍結されていたものが、着手できるほどの財源がまだない。ふるさと納税により財源が入ってきているが、まだ十分にあるわけではない。

【委員長】

立地適正化計画（案）ということで、これで皆様からのご了解いただくということになるが、最後にご意見などはないか。

【事務局】

今後はパブリックコメントを実施し、そこでの意見を反映した後に策定する予定。パブリックコメントにて意見等があった場合でも、大きく内容等に変更がない限りは、委員会を開催せずに、事務局の方で対応をすることよろしいでしょうか。

【全委員】

異議なし

以上